

広島市植物公園見どころ案内

アロエ (ユリ科) オレンジ色の花が咲いています。多肉の葉はサボテンのように見えますが、ユリの仲間です。花びら6枚の筒状の花はユリ科の特徴をもっています。

野生ラン (ラン科) 本園では約1500種の野生ランを栽培していますが、開花した株をここに展示しています。東南アジアや熱帯アメリカなどの珍しい野生ランの花を見ることができます。

フクシア・プロクムベンス

(アカバナ科) ニューゼaland原産のフクシアです。花は小さいですが、珍しい黄花種です。

ナガバヒカクシダ

(ウラボシ科) ヒカクとは大鹿の角のことです。角とキャベツの葉のような、形の違う2種類の葉をもつシダです。キャベツ葉は植木鉢の役割をします。大温室のあちこちで見られます。

ドンベヤ・チリアケア

(アオギリ科) 白いくす玉のような花が美しい、南アフリカ原産の花木です。大温室正面入口に入って右手にあります。

ピンクボール (ドンベヤ・ワリキイ)

(アオギリ科) ピンクのくす玉みたいな花です。並べて植えられている同属の白花種より開花時期は少しおそく、やっと咲き始めたところ。東アフリカとマダガスカル原産です。

タイリンヒメブツウゲ

(アオイ科) 花びらを閉じたままで、めしべだけ先から出すおもしろい花です。大温室正面入口に入ってすぐ上を見てください。ハイビスカスに似た赤い花です。

トガリバヒメツバキ

(ツバキ科) 台湾原産の椿です。ほんのり紅をさした白い花が咲いています。日本原産のサザンカに似ています。昨年より花が大きく美しいです。

しろわびすけ 白佬助 (ツバキ科) わびすけ椿の白花です。ツバキ園一番下の段の奥に高さ3メートルほどの木があります。

ヤマコウバシ

(クスノキ科) 落ちない受験のお守りの木です。紅葉のあと春の芽だしまで葉が落ちずに冬をこします。

バナラ

(ラン科) 実がなっています。バナラビーンズと呼ばれるのはインゲン豆のさやに似ているからだとか。キュアリング(発酵)によって甘い香り物質ができます。

オオミルモン

(ミカン科) 巨大な園芸品種のレモンです。普通のレモンに比べ酸味はややマイルドで、重さは5個分だそうです。

動物のバンジー

(スミレ科) ウサギやネズミ、クマなど動物を連想させる園芸品種のピオラを集めました。

サザンカの生垣

園芸品種のサザンカが見ごろです。坂道に沿って生垣がつづいています。散策にはおすすめの小道です。

